

令和4年度土採取現場責任者試験

試験問題

注意事項

1. 試験時間 10時～12時(2時間)
2. 試験問題の構成

法令問題	10問(問1～問10)
技術問題	10問(問11～問20)
3. 解答用紙
上部の所定の欄に、受験番号及び氏名を正しく記入してください。
4. 解答の記入方法
 - (1) ア～エのうちから、正解と思う該当符号を解答欄に記入してください。
 - (2) 一つの解答欄に複数の符号を記入した場合は、いずれも正解としません。
 - (3) 解答を訂正する場合は、消しゴムで抹消してから書き直してください。
5. 電子計算機及び計算機機能付時計の使用は禁止します。
6. 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
7. 退室は、試験開始後40分間、及び試験終了前10分間は認めません。退室時には必ず解答用紙を提出してください。なお、一度退室すると試験が終了するまで入室できません。
8. 試験問題は持ち帰りできます。
9. 不正行為をした方は失格とします。また、不正行為と紛らわしい行為をした場合も同様です。
10. 試験中はこの注意事項及び係員の指示に従ってください。従わない場合は、退場を命じることがあります。
11. 中途退出等係員を呼ぶ場合は、黙って手を挙げてください。

千葉県

問題中の用語について

- 1 「条例」とは、「千葉県土採取条例（昭和49年千葉県条例第1号）」をいう。
- 2 「規則」とは、「千葉県土採取条例施行規則（昭和49年千葉県規則第66号）」をいう。
- 3 「審査基準」とは、「千葉県土採取計画の認可に係る審査基準（平成25年4月1日施行）」をいう。

問 1 条例の目的を記述した次の文中、～に入れるべき語句について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

この条例は、土採取業について、その事業を行う者の登録、土の採取計画のその他のを行うことにより、土の採取に伴うを防止し、もっての福祉の維持及び増進に資することを目的とする。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 認 | 可 | 規 | 制 | 災 | 害 | 県 | 民 |
| イ | 許 | 可 | 規 | 制 | 事 | 故 | 住 | 民 |
| ウ | 認 | 可 | 監 | 視 | 災 | 害 | 住 | 民 |
| エ | 許 | 可 | 監 | 視 | 事 | 故 | 県 | 民 |

問2 条例の適用に関する次の ~ の記述について、誤っているものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

非営利団体であれば、その事業のために反復、継続して土の採取を行う場合であっても、条例は適用されない。

宅地造成に伴って土を採取し、造成工事で余った土を残土として搬出し、廃棄する場合は、条例が適用される。

建設業者が、自己の請け負った工事のみに使用するために、土を採取する場合は、条例が適用されない。

一時的に少量であっても、個人が庭を修復するために土を採取する場合は、条例が適用される。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問3 次の ~ の記述のうち、条例に基づき知事が土採取業者の登録を拒否する事由として正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

選任しようとする現場責任者が、その登録を受けようとする法人の代表取締役であった。

現場責任者として、採石法第32条の13の規定による採石業務管理者試験に合格した者を置くこととした。

選任しようとする現場責任者が、他の土採取業者の現場責任者として登録されている者であった。

登録を申請した法人の業務を行う役員の中に、この条例の規定により申請日の1年前に罰金の刑に処せられた者が存在した。

- ア 、 、
- イ 、
- ウ 、
- エ 、 、

問 4 条例及び規則に基づく現場責任者の職務に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土の採取に従事する者に対する土の採取に伴う災害の防止に関する教育計画の作成に関して、土採取業者に助言しなければならない。
- イ 土採取計画を作成し、その認可の申請をしなければならない。
- ウ 土の採取に伴う災害が発生した場合に、その原因を調査し、適切な対策を講じなければならない。
- エ 土採取場において、経済上効率的な採取が行われるよう努めなければならない。

問5 次の ~ の記述のうち、条例に基づく認可申請書に添付すべき書類として規則に明確に規定されていないものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- 採取する土の種類及びその販売価格を記載した書面
- 土採取場並びにその周辺の土地の現況及び主要な公共施設等を示す見取図
- 土採取場で土の採取を行うことについて申請者が権原を有することを示す書面
- 掘削区域の求積図及び土量計算書

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 6 条例に基づく採取計画の認可に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土採取業者は、自己の所有地で土の採取を行い、これを販売する場合、採取計画の認可を受ける必要はない。
- イ 土採取業者は、認可採取計画に規則で定める軽微な変更をしようとするときは、知事の認可を受ける必要はないが、その場合であっても、知事に届け出なければならない。
- ウ 知事は、認可申請に係る採取計画に基づいて行う土の採取が、他人に危害を及ぼし、公共の用に供する施設を損傷し、又は環境に悪影響を及ぼし、公共の福祉に反すると認めるときは、認可をしてはならない。
- エ 知事は、認可申請に係る採取計画に定められた採取する土の数量及びその採取の期間を審査し、土の需給に混乱が生じる恐れがあると認めるときは、認可をしてはならない。

問7 条例に基づく緊急措置命令等に関する次の ~ の記述について、正しいものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

知事は、登録を受けずに土採取業を行った者に対し、採取跡の埋戻しその他土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

知事は、土の採取に伴う災害の防止のため緊急の必要があると認めるときは、採取計画の認可を受けた土採取業者に対し、土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

非常災害のために必要な緊急措置として、採取計画の認可を受けずに土の採取を行い、当該非常災害がやんだ後にその旨を届け出た土採取業者に対し、知事は、土の採取に伴う災害の防止のために必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

知事は、緊急措置命令を発しようとするときは、あらかじめ公開による聴聞を行わなければならない。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 8 条例及び規則に基づく完了及び廃止の届出等に関する次の ~ の記述のうち、誤っているものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

土採取業者が認可に係る土の採取を廃止しても、当該認可は、その効力を失わない。

土採取完了（廃止）届出書は、認可採取計画の採取の期間内に提出しなければならない。

土採取完了（廃止）届出書には、採取跡地の土砂等の崩壊の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等を記載しなければならない。

土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、規定様式による届出を行わなければならない。

- ア 、
- イ 、
- ウ 、
- エ 、

問 9 条例及び規則に基づく土採取場に掲げるべき標識に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 標識には、規則で定めるところにより、氏名又は名称、登録番号その他の規則で定める事項を記載しなければならない。
- イ 主標識は、掘削区域の間近に掲示しなければならない。
- ウ 補助標識は、土採取場の区域が確認できるものでなければならない。
- エ 主標識は、その下部が地面から 50 cm 以上の高さになるよう設置しなければならない。

問10 土採取に関連する法令等に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかった場合においては、使用者は、その費用で必要な療養を行い、又は必要な療養の費用を負担しなければならない。(労働基準法)
- イ 貨物が分割できない等やむを得ず過積載となる場合、出発地警察署長が当該車両の構造又は道路若しくは交通の状況により支障がないと認めて積載重量等を限って許可をしたときは、車両の運転者は、当該許可に係る積載重量等の範囲内で当該制限を超える積載をして車両を運転することができる。(道路交通法)
- ウ 森林法で指定する保安林において土を採取する場合、都道府県知事の許可を受けなければならない。(森林法)
- エ 土地の掘削その他の土地の形質の変更であって、その対象となる土地の面積が環境省令で定める規模以上のものをしようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない(土壤汚染対策法)

問 11 土の採取量は、採取に伴う災害を防止するため過大なものにならないよう決めなければならないが、次の ~ について、採取量の適否を判定するのに必要な事項として、審査基準に定めのあるものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

作業時間及び作業人員

採取の方法

主要道路に至るまでの搬出路の状況

採取場の自然状況による採取の難易度

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 12 審査基準に定める土の掘削の方法等についての記述として適切なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 掘削の方法は、階段掘り方式でなければならない。

イ 申請者は、掘削基準点を設定し、現地において表示しなければならない。

ウ 掘削の深さは、掘削基準点から10メートル以内でなければならない。

エ 崩壊等による災害を防止するため、採取中の掘削面のこう配は75度以下で掘削しなければならない。

問 13 土採取場の管理に関する次の ~ の記述について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

降雨等により、土採取場内で土砂、汚濁水等が滞留するのを防止するため、土採取場外に排出する施設の設置その他の適切な措置を講じる。

土採取場において、工事関係者以外の者が近づくことができる箇所がある場合は、当該箇所に囲い柵、危険表示その他の表示物を設置する。

掘削箇所への地下水の浸透、地下水位の低下その他の地下水の変化により、土採取場周辺の井戸水、農業用水その他の水の利用に悪影響を与えないように行う。

乾燥時においては、土砂の飛散を防止するため、周辺の状況に応じて、土採取場内への散水、防砂ネットの設置その他の必要な措置を講ずる。

- ア 、 、
- イ 、 、
- ウ 、 、
- エ 、 、

問 14 のり面崩壊の原因等に関する記述として適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 雨はのり面を流れることにより、表土のみを流し去ってのり面を安定させる。

イ 地震は、外力としてのり面へ作用するためのり面崩壊の誘因となる。

ウ 風は土を飛散させ、また風化を促進するので、むき出しののり面に対しては直接の破壊力となる。

エ のり面崩壊を防ぐために安定勾配で掘削することは重要である。

問 15 雨水を処理するための沈砂池（浸透池）に関する記述について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 沈砂池の周囲には防護柵を設置し、進入及び転落を防止する。
- イ 沈砂池の位置や構造は掘削の段階毎に計画する。
- ウ 沈砂池の容量は、設計する前年の最大降雨量から決定する。
- エ 沈砂池に堆積した土砂等については適宜浚渫を行う。

問 16 建設機械に関する記述について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 建設機械の重量制限値を超えた状態で作業を続けると、整備・修理のタイミングを早めるだけでなく、破損や故障の原因となり、不安全な状態に至らせることになる。
- イ 騒音対策として、低騒音型の機械を使用し、重機の空吹かしの抑制や場外運搬トラックのアイドリングストップを行う。
- ウ 作業効率の観点から、なるべく狭いベンチ面で大型油圧ショベルを稼働させる。
- エ 就業制限のある建設機械の使用・取扱いにあたっては、その機械に定められた有資格者以外の使用を禁止する。

問 17 土採取終了後のり面に対する緑化工について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 緑化工は一般に一回の施工だけでは完成しないので、追肥、補植あるいは次世代適用木の植栽を随時行う。
- イ のり面緑化の目的は、景観保持、水源保持、流出水量の調整のほか、雨水による表面侵食や初期崩壊防止にある。
- ウ のり面への植物の定着・生育を容易にするため、のり面のこう配をできるだけ緩やかにした。
- エ 施工の時期として、通常早春～梅雨期前半までに行うと、年間の成長量が少なく、冬期間の枯損が多い。

問 18 等高線の性質に関する記述として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 等高線の種類には、主曲線と副曲線がある。
- イ 等高線を見ることで山の尾根や谷が把握できる場合がある。
- ウ 同じ等高線上の点は、すべて同高（同標高）であるとは限らない。
- エ 一番内側で閉合する等高線は、必ず高い土地を示している。

問 19 集水面積が 10 ha の採取場に 1 時間当たり 30 mm の降水があった。2 時間降り続いた場合、この水量は、長さ 50 m、幅 25 m、高さ 2 m のプールの容積の何倍に相当するか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 0.4 倍
- イ 1.2 倍
- ウ 2.4 倍
- エ 3.2 倍

問 20 採取場にて地山土量 2 , 0 0 0 m³を掘削し、ダンプトラック (5 m³積) 8 台で運搬すると、運搬に要する日数は何日になるか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、掘削する地山の土量変化率は、 $L = 1 . 3 0$ 、 $C = 0 . 9 0$ とし、ダンプトラック 1 台が 1 日に運搬する回数は 5 回とする。

注) $L = \frac{\text{ほぐした土量 (m³)}{\text{地山の土量 (m³)}$ $C = \frac{\text{締固め後の土量 (m³)}{\text{地山の土量 (m³)}$

- ア 9 日
- イ 1 0 日
- ウ 1 2 日
- エ 1 3 日